

ノリ養殖環境速報 KH-05-08 (播磨灘)

令和6年1月15,17日 調査
 令和6年1月17日 発行

【概況と今後の動向見込み】

表層のDIN濃度は、東部、西部海域ともにやや減少しています。
 大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーやユーカンピアは確認されましたが、細胞数は少なめです。
 栄養塩濃度は現状維持程度か、まとまった降雨があれば一時的に増加すると考えられます。

- ・兵庫県の情報：<https://www.hyogo-suigi.jp/>
- ・岡山県の情報：<https://www.pref.okayama.jp/page/880806.html>
- ・香川県の情報：<https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

【次回】 令和6年1月23日発行予定
 【参考】 栄養塩の単位
 $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【表層水温(°C)】

白浜以西：9.4 ~ 10.5，家島諸島周辺：10.0 ~ 12.2，江井ヶ島・高砂周辺：10.6 ~ 11.3，
 明石海峡付近・西浦：11.6 ~ 12.0，鹿ノ瀬周辺：10.9 ~ 11.6



